

# なえぼ

令和8年度

～力いっぱい 精いっぱい～

学校だより No.5

令和8年(2026年)6月30日

札幌市立苗穂小学校

<https://www.naebo-esapporo-c.ed.jp/>



## 答えよりも大切なもの

主幹教諭 玉山 大補

熱戦が繰り広げられているサッカーW杯。今朝も日本代表の激闘に胸を熱くしていた方が多いのではないのでしょうか。私もその一人です。今大会は、けがやコンディション不良で当初想定していたメンバーで戦えない状況でもありました。大会前、「南野…」「三笥が…」「遠藤まで…」と落ち込んでいた私ですが、そんな中で耳にした森保一監督の言葉が強く印象に残っています。

**「想定外も想定内。起きてしまったことを嘆くのではなく、その現実を受け止め、その中で何ができるのかを考える。」**

**「(どんなメンバーでも)選手一人一人がピッチ上で状況を判断し、自分たちでよりよい戦い方に変えるプレーを大切にしてほしい。」**

困難な状況が訪れたときこそ、自ら考え、判断し、行動する。この4年間でドイツやスペイン、ブラジルやイングランドといった世界の強豪国に打ち勝ってきた森保 JAPAN の強さを支えているのは、こうした「自律」を大切にしている考え方なのかもしれません。私は、この「自律」こそが、子どもたちに育てていきたい力の一つではないかと強く思うのです。

小学校には、学習面や友達関係、生活面などで様々な困りを抱える子どもたちがいます。困ったことが全くない子は、おそらくいないでしょう。集団生活を送る以上、それは自然なことです。大人も同じですよ。だからこそ私たちが目指したいのは、「困らない子」を育てることではありません。困ったときに立ち止まり、自分で考え、判断し、また一步を踏み出せる子を育てることです。

元中学校長で教育実践家でもある工藤勇一氏は、著書『最新の脳研究で分かった!自律する子の育て方』の中で、自律した人を育てるためには、まず自分自身の状況や気持ちを客観的に捉える「メタ認知」が欠かせないと述べています。そして、その上で悩みながらも自ら考え、自ら選ぶ「自己決定」を繰り返すことが重要だとしています。

では、子どもが自ら考え、自ら決める経験を積んでいくために、私たち大人には何ができるのでしょうか。例えば、子どもが宿題になかなか取り組めない場面があったとします。

**A「ゲームばかりしていないで早くやりなさい。」**

**B「今から始めるのと30分後にやるのどっちにする？」**

どちらも宿題をしてほしい気持ちは同じです。真っ先に言ってしまうと欲するものはAかもしれません。しかし、Bには子ども自身が考え、決める余地があります。

また、子どもが学校から帰ってきて、「今日、友達に嫌なことを言われた…。」と話してきた場面ではどうでしょう。

**A「その子ひどいよね。先生に言うとおくね。」**と大人がすぐに解決しようとすることもできます。それが必要な場面もあります。

**B「そうだったんだね。どんなことがあったの?」「あなたははどうしたいと思っている?」「何か手伝えることはあるかな?」**と問い掛けることもできます。これにより、子どもは自分の気持ちを整理し、自分なりの答えを考え、自分で決める経験を積むことができます。また、困ったときには「相談してもいいんだ」と思える安心感にもつながります。こうした小さな自己決定の積み重ねが、「自分でできた」という感覚を生み、自律する力へとつながっていくのではないのでしょうか。

自分の子どもが寂しそうな顔をして帰ってきたり、学校から「実は今日、友達との間でこんなことがありまして……。」という連絡を受けたりすると、つい冷静でいることが難しくなることもあるかもしれません。それは子どもを思う自然な親心だと思います。しかし、そのようなときほど、「トラブルは起こるもの」「本人がこの経験から何を学ぶのか」という視点を少しだけ意識して、お子さんに声を掛けていただければ幸いです。そして、その上で遠慮なく学校にもご相談ください。苗穂小には、子どもたち一人一人に本気で向き合う教職員がいます。今後も学校と家庭で同じ方向を向きながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

ここまで偉そうに自律することの大切さについて書いてきましたが、この原稿の締切が迫る中、「まだ書けていない」「そろそろ本気で取りかからなければまずい」ということだけはメタ認知しているにもかかわらず、優先順位を自分で判断することができず、日本 VS チュニジア戦を見ながらビールのプルタブに手を伸ばしている自分がいました…。

どうやら、自律する子どもを育てる前に、自律した大人になるための修行がまだまだ必要なようです。

# 7月行事予定



日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
			全校朝会② 耳鼻科検診 (すずかけ・1・4年) 4年下水道出前授業 ALT:3・4年	参観懇談 (1~3年、すずかけ) 全学年:5時間授業	参観懇談(4~6年) ALT:5・6年	
5	6	7	8	9	10	11
	クラブ④	食指導(3年生)	ALT:3・4・6年	避難訓練②	ALT:5・6年	
12	13	14	15	16	17	18
	委員会⑥		6年見学旅行① ALT:3・4年	6年見学旅行②	6年振替休業日 子育てサロン④ ALT:3・4年	
19	20 海の日	21	22	23	24	25 夏季休業日
	海の日		ALT:5・6年	にこにこランチデイ 6年出前授業:「ネット マナー教室」 たてわり室内あそび	1学期終業式 全学年:4時間授業 (給食あり)	~8月23日まで

## \*6年生 見学旅行に行ってきます\*

7月15日(水)から1泊2日の見学旅行に出発します。いろいろな体験や活動を通して、仲間との貴重な思い出をたくさんつけてきてほしいと思います。

### 7月15日(水)

学校出発 → 千歳サケのふるさと千歳水族館(バックヤードツアー) → 北広島 KUBOTA AGRIFRONT(農業学習施設見学) → ホテル着(登別温泉ホテルまほろば)、お土産購入 → 夕食 → 入浴 → 就寝

### 7月16日(木)

起床 → 朝の集会 → 朝食 → 登別伊達時代村 → 白老ウポポイ民族共生象徴空間 → 徳寿ファームレストラン KANTO(昼食) → 学校到着



## \*令和8年度(R8.10月~R9.9月) 就学援助申請について\*

「就学援助の申請に関わるお知らせ」について、6月15日(月)に配付、すぐる配信いたしました。希望される方は、**8月28日(金)まで**に申請をお願いします。

## 学習参観懇談のお知らせ

先日すぐるにてお知らせしました学習参観懇談会を、7月2日(木)、3日(金)に実施いたします。それに伴い、2日(木)も全学年5時間授業となり、14時20分ごろ下校予定となっています。子どもたちが笑顔で学習に臨む姿、真剣に学習に取り組む姿を、ぜひご覧ください。

## 夏休み明けの予定について

今年度の夏も昨年同様、暑くなることが予想されています。エアコンの稼働についても次年度からとなることから、子どもたちの健康面や安全面、暑さによる集中力の低下等も考慮し、夏休み明けの時程を以下のようにいたします。

1週目 8月24日(月)~8月28日(金)  
全学年4時間授業(給食あり)

2週目 9月1日(火)~3日(木)  
全学年5時間授業

3週目 ①9月8日(火)・9日(水)  
全学年5時間授業  
②9月10日(木)

教職員研修日のため 4時間授業(給食あり)

※ 5年生は、8月26日~27日の滝野宿泊学習に予定通り参加します。

※ 9月8日の4年生の校外学習についても予定通り行います。